

武蔵野線沿線活性化リサーチプロジェクト (ムサビノ線)

概要

このプロジェクトは、芸術文化学科のPBL授業「アーツプロジェクト」の一環として実施しました。プロジェクト受講生が、学外の協働者・協力者と連携し、「アート」「観光」「まちづくり」を掛け合わせ、JR武蔵野線沿線の地域資源のフィールドワークを行い、「駅」という地域資源を活用して駅とその沿線地域を活性化するための提案をすることを目的としています。今年度は対象エリアをJR武蔵野線の「新小平駅」と「府中本町駅」周辺に絞り、受講生が各自で調査を進めながら、リサーチ（まとめ役）、コミュニケーション、ワークショップ、展示の4チームに分かれプロジェクトを進めました。

学生はプロジェクトキャラクターのデザイン提案、イベント告知ポスター等の制作と発送、SNSでの情報発信、リサーチから得られた情報の駅なか展示と造形ワークショップを企画・実施することで、アートを楽しむ機会を提供するとともに、参加者からの情報収集も行いました。これらのリサーチ結果を元に、最終的に本学オープンキャンパスにおいて、武蔵野線沿線を活性化するプランを提案するプレゼンテーションを実施しました。

基本情報

担当教員学科 芸術文化学科	参加学生の人数 11名
担当教員氏名 杉浦幸子、米徳信一	連携先など関係者の人数 一般社団法人こだいら観光まちづくり協会2名 株式会社サステナブルタウン1名 JR東日本八王子支社武蔵野統括センター11名
プロジェクト実施期間 2025年4月～8月	参加学生の学年 1年生～3年生
プロジェクトの実施拠点 JR武蔵野線 府中本町駅、新小平駅 本学オープンキャンパス2025	主な連携先 一般社団法人こだいら観光まちづくり協会、株式会社サステナブルタウン、JR東日本八王子支社武蔵野統括センター
参加学生の学科 芸術文化学科	

プロジェクト全体の関係図

